

# 『岩手のことばを語る会』のあゆみ

年月日	こと  が ら
H10. 9. 15 (1998)	平成10年9月11日成田虞邦氏(岩手県言語障害児をもつ親の会第2代会長・全国言語障害児をもつ親の会第3代会長)逝去。葬儀(花巻市・松山寺)。法事の席で担任OB会組織の件が話題になる。
H11. 8. 8 (1999)	第1回ことば・きこえの旧担任者の会懇親会を花巻温泉ホテル千秋閣で開催。会の名称を「岩手のことばを語る会」とする。【参加者40名】 初代会長－菊池 義勝氏
H12. 8. 19 (2000)	第2回「岩手のことばを語る会」開催。大船渡・ホテル海楽荘(幹事 佐々木仁也先生他に気仙地区の会員が中心となり開催) *大船渡海岸地区散策・史跡探訪【参加者21名】
H13. 8. 25 (2001)	第3回「岩手のことばを語る会」開催。金ヶ崎温泉東館(幹事 鈴木秀悦・千葉忠範先生他に胆江地区の会員が中心となり開催) *地区散策・水利事業見学【参加者25名】
H14. 7. 30 (2002)	※ 華鬘草第一集刊行(執筆会員 20名) 第4回「岩手のことばを語る会」開催。鶯宿温泉鶯山荘(幹事 若松三郎・門脇次郎先生) 【参加者33名】
H15. 11. 1	※ 華鬘草第二集刊行(執筆会員 18名)
H16. 8. 28 (2004)	第5回「岩手のことばを語る会」開催。宮古白浜 海幸園 (幹事 田崎豊義・牧原 登先生) *船で最東端鮫ヶ崎灯台へ【参加者26名】
H18. 9. 15 (2006)	※ 華鬘草第三集刊行(執筆会員 24名) 第6回「岩手のことばを語る会」開催。鶯宿温泉 南部富士見ハイツ【参加者31名】 10月ー第37回全難言協大会実行委に参加
H19～20 (2007～2008)	第29回全難言協岩手大会に向けて支援賛助金募金活動。会員等から100万円を超える賛助金が集まる。*全難言岩手大会実行委員会及び岩手県難言研究会及び難言地区研究会(9地区)に研究活動費として寄付。*(やまびこ会)に活動補助金として寄付
H20. 5. 16 H20. 7. 30 ～8. 1	第7回「岩手のことばを語る会」開催。鶯宿温泉 南部富士見ハイツ【参加者30名】 第37回全難言協大会岩手大会開催(「語る会」は実行委員会委員及び研究会分科会役員として参加)
H22. 9. 3 (2010)	※ 華鬘草第四集刊行(執筆会員 24名) 第8回「岩手のことばを語る会」開催。金矢温泉 ホテル銀砂パークはなまき(幹事 事務局担当) *故成田康邦さん墓前法要 【参加者35名】
H23. 3. 11～ (2011)	東日本大震災による沿岸地区の通級指導教室設置校の被災状況視察と教室の指導再開に向けた支援について、親の会と連携しながら活動(継続的な活動となる)
H24. 10. 26 (2012)	※ 華鬘草第五集刊行(執筆会員 25名) 第9回「岩手のことばを語る会」開催。花巻台温泉 中嶋旅館(幹事 事務局担当) 【参加者30名】
H26. 5. 30 (2014)	第10回「岩手のことばを語る会」開催。鶯宿温泉 赤い風船(幹事 事務局担当) 【参加者25名】
H26. 11. 22	気仙地区ことば相談会4組・ことばの教育を語る会22名・懇親会14名 参加
H27. 6. 13 (2015)	岩手県ことばを育む親の会結成50周年記念式典 語る会は大会役員・実行委員として参加
H28. 6. 11 (2016)	第11回「岩手のことばを語る会」開催。鶯宿温泉 ニュー鶯山荘(幹事 事務局担当) 【参加者28名】 2代会長－若松 三郎氏
H28. 9. 7	※ 華鬘草・号外 折々の記～岩手のことば 事始め～(菊池義勝顧問執筆)
H29. 4. 11	※ 華鬘草第六集刊行(執筆会員 32名)
H30. 6. 29 (2018)	第12回「岩手のことばを語る会」開催。鶯宿温泉 赤い風船(幹事 事務局担当) 【参加者27名】 3代会長－久保 四男氏
R 2 (2020) ～ R 5 (2023)	新型コロナウイルス感染症の流行の長期化のため令和2年(2020)と令和4年(2022)の「岩手のことばを語る会」は開催できず。 岩手県難聴言語障がい教育研究会結成50周年記念事業「語る会」は実行委員として参加 ・記念誌発行-令和3年2月(2021) ・記念式典、記念講演会(講師－重松清氏)開催 -令和4年1月(2022)
R5. 10. 29	第13回「岩手のことばを語る会」開催。「橋本屋本店」盛岡市本町通(幹事 事務局担当) 【参加者15名】 4代会長－坂本信行氏